

平成18年10月6日

各位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号



平成18年下期の金属製品の生産予定について

品目	単位	平成18年下期 生産予定	平成18年上期 生産実績見込	平成17年下期 生産実績
銅	t/期 (t/月)	307,500 (51,250)	291,900 (48,650)	266,510 (44,418)
硫酸	t/期 (t/月)	801,000 (133,500)	812,000 (135,333)	663,601 (110,600)
金	kg/期 (kg/月)	17,000 (2,833)	14,000 (2,333)	15,367 (2,561)
銀	t/期 (t/月)	137 (23)	171 (29)	138 (23)

以上

お問い合わせ先： パンパシフィック・カッパー株式会社
総務部 村山・小松崎
(TEL : 03-3560-8600)

(付帯説明)

(1) 銅

上表は日鉱製錬(株)における銅生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における銅生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：17年下期実績	187,240T	日比共同製錬：17年下期実績	79,270T
18年上期見込	215,100T	18年上期見込	76,800T
18年下期予定	220,400T	18年下期予定	87,100T

平成18年度下期の日鉱製錬銅生産量については、S P I工事完成等により対前期比約2%の増産を予定している。

平成18年度下期の日比共同製錬銅生産量については、定修の実施がないこと及び上期に実施した第2電解のI S A切替工事の効果により対前期比約13%の増産を予定している。

(2) 硫酸

上表は日鉱製錬(株)における硫酸生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における硫酸生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：17年下期実績	464,013T	日比共同製錬：17年下期実績	199,588T
18年上期見込	604,000T	18年上期見込	208,000T
18年下期予定	555,000T	18年下期予定	246,000T

平成18年度下期の日鉱製錬硫酸生産量については、定修実施の影響及び鉱石組成差により、対前期比約8%の減産を予定している。

平成18年度下期の日比共同製錬硫酸生産量については、定修の実施がないことから、対前期比約18%の増産を予定している。

(3) 金及び銀

上表は日鉱製錬(株)における金及び銀生産量(全量)を記載。

金については、原料調達状況に基づき、対前期比約20%の増産を予定している。

銀については、原料調達状況に基づき、対前期比約20%の減産を予定している。

以 上